

調査研究報告書の要約

| | | | | | |
|---------|---|----|--------|-----|-----------|
| 分類・テーマ別 | I・3, J・3 | | 分類・業種別 | 8・1 | |
| 書名 | 平成 15 年度中小機械工業の活性化、技術開発促進に資する情報ネットワークの構築() - 資材調達分科会報告書 - | | | | |
| 発行機関名 | 社団法人 日本機械工業連合会 | | | | |
| 発行年 | H16(2004) | 頁数 | 132 頁 | 識別 | 15 高度化(業) |

[目次]

1. 調査の目的

2. 調査内容と方法

- (1) 調達側企業へのアンケート調査の実施
- (2) 各中小企業関連団体へのヒアリング
- (3) その他関連情報の収集
- (4) 収集した情報のスクリーニング方法

3. 調査結果

- (1) 調達側企業へのアンケート調査
- (2) 各中小企業関連団体へのヒアリング対象先

《資料》

- 資料 - 1 中小機械工業の活性化に資する情報収集・活用に関する意見のお願い
- 資料 - 2 中小機械工業の活性化に資する情報収集・活用について(意見結果)

紹介企業一覧

企業紹介

各企業の特長、概要、方針等

[概要]

製品コストの60～80%を調達費が占めると言われるほど、資材調達は企業競争力にとって極めて重要な要素であり、各企業も直接材コスト削減という課題解決に向けた新たな調達戦略に取り組みつつある。例えば、開発購買やサプライヤーとのコラボレーションなどのように、調達部門のみならず設計段階から他部門や外部サプライヤーとの緊密な連携をとるなど、調達の役割がますます広がっている。

一方、わが国の機械工業を支える中小企業の中には、独自の技術・製品を開発する力を持った優秀な企業が数多くあるにもかかわらず、その情報が行き渡っていないため、その技術力が十分活用されておらず、中小企業側においても、需要先のニーズが掴めないのが現状である。

わが国企業が国際競争力を高め、経済全体が活性化するためには、優秀な技術力をもった中小企業のシーズと大手企業のニーズをうまくマッチングさせることが重要であり、そのための橋渡し役機能を充実させていくことが必要である。

そこで、日機連・資材委員会では下部組織である資材調達分科会において、わが国中小機械工業の埋もれた技術や優秀な製品を発掘し、これらを有効に活用していくためのシステム構築を目的に調査、作業を進めた。

本報告書は、平成15年度に実施した東京都内近辺の中小企業関連団体へのヒアリング調査や新聞、専門誌、展示会等の情報から、一定の選定基準を満たした優秀な中小機械企業を10業種（一般機械器具、化学製品、機械要素部品、金属製品加工、産業用機械、精密機械加工、電気機械器具、電子情報機器、表面処理、その他の製造業）110社について、会社概要、事業内容、特長、方針等を紹介している。なお、具体的な調査は資材調達分科会の指揮のもと、(株)日立国際ビジネスに委託して実施した。